インフルエンザ随伴症状の発現状況に関する調査研究

○ 平成17年度（分担研究者：横田俊平、研究協力者：7人）

12都県　2,846人（2,545）

薬剤使用（第1・2病日）：アセトアミノフェン　95.4 %；タミフル　91.8 %

異常行動発現：　タミフル使用群　11.9 %；　未使用群　10.6 %

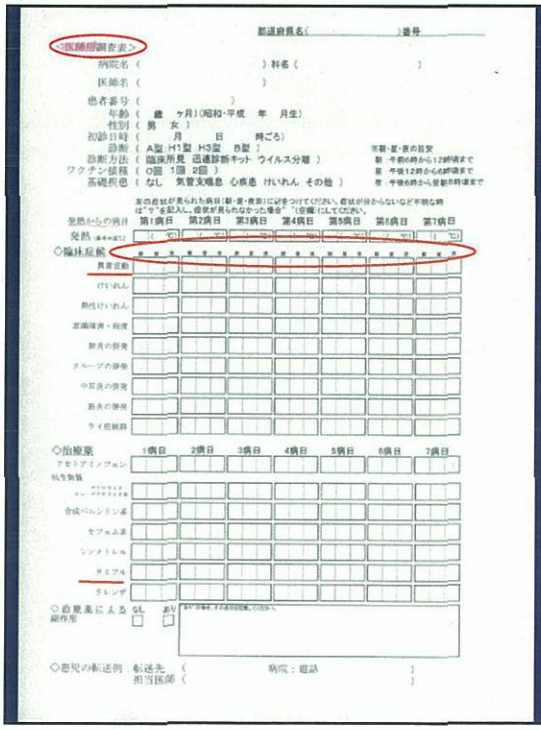
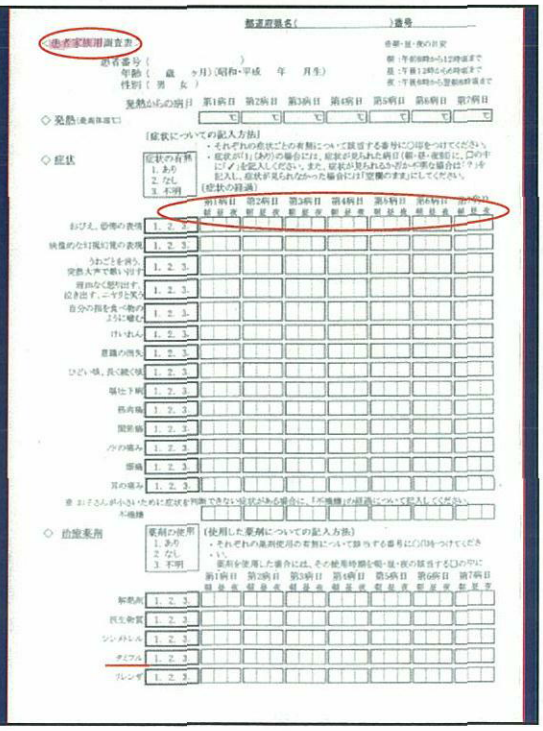
異常行動発現に対するハザード比（薬剤使用後に症状発現と仮定）

タミフル：　HR=1.16（0.90-1.49）；　adj-HR =1.07 (0.80-1.44)

アセトアミノフェン：　HR=1.53（1.20-1.94）；　adj-HR =1.31 (0.98-1.75)

○ 平成18年度（分担研究者：横田俊平、研究協力者：7人）

10,000人の大規模調査実施

○ 平成19年度（分担研究者：廣田良夫、研究協力者：8人）

10,000人の大規模調査のデータ解析